

1月1日(祝)

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111
http://www.city.ichikawa.lg.jp/
cou01/154100002.html

いちかわ

市議会だより

市川市議会は毎年2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。市議会だよりは5月、8月、11月、翌年2月に各定例会号を発行(新聞折り込み)し、審議内容をお知らせしています。



市川市動植物園の人気者たち

「地方の時代」市民の負託に応える議会をめざして

市議会議長 岩井清郎
市議会副議長 松永鉄兵

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことからお慶び申し上げます。日頃より、市川市政の発展と市議会の運営並びに活動にご協力をいただいておりますことに深くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、我が国の経済においては、4月に消費税が17年ぶりに5%から8%に引き上げられました。これに伴い、増税前は駆け込み需要が生まれ、増税後は反動減に悩まされました。政府は、月例経済報告の中で、「景気は、緩やかな回復基調が続いていて、今後は緩やかな回復が期待される」としておりますが、未だ先が見通せない状況であります。

そのような中、スポーツの世界では、韓国仁川で開催された第17回アジア大会では多くの選手が活躍し、さらに錦織圭選手がテニスの四大大会の一つ、全米オープン男子シングルスで日本人選手として初めて決勝に進み、準優勝に輝くという、大変面白い話題をもたらしてくれました。

さて、市政に目を転じてみますと、昨年は、行財政改革の一環として、職員給与において国家公務員に準じた給料表に改定し、人件費の抑制を図りました。

また、市民の皆様にはご負担をお願いいたしますが、受益者負担の適正化を図るために公民館やスポーツ施設などの使用料の見直しと、事業の健全運営のための国民健康保険税の見直しを行いました。また、長年の懸案となっており、市民説明会などを実施いたしました。今後は、本年夏頃までに実施設計を行い、まずは、新第2庁舎の平成29年竣工を目指して着工する予定となっております。

地方分権一括法も順次施行され、地方分権が進展する一方、急速に進む少子高齢化や人口減少等により国も地方もむずかしい行政運営を迫られており、まさに、地方の力が問われる時代であります。このように地方自治体の自己決定、自己責任の範囲が拡大し、地方の独自性が求められている中で、市議会の果たす役割は益々重要となっております。

これら市政を取り巻く環境の変化を的確にとらえながら、不断の研鑽と努力を重ね、議員一人ひとりがその責任を自覚して、市民目線に徹し、さらに市民の信頼と負託に応える議会をめざして全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、新しい一年が市民の皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、「健康」と「多幸」を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。